

緑丘幼稚園 だより



2023年
(令和5年)
9月13日
第7号

実りの秋、2学期がスタート!!



今年の夏休みはコロナが落ち着き、4年ぶりに制限がなくなり、子ども達はおじいちゃんやおばあちゃんちに遊びに行ったり、家族でお出かけしたり・・・楽しい思い出をたくさん詰め込んで、2学期がスタートしました。スタートして間もなくは、お家の人と別れるときに涙が出る子が何人かいましたが、次第にリズムを取り戻し、スムーズな朝を迎えられるようになってきています。子ども達が気持ちよく登園できるようにご配慮ありがとうございます。これからも健康管理に気を配りながらご協力よろしくお願いいたします。

2学期は、スポーツの秋、食欲の秋、実りの秋、一年の中でも好季節です。幼稚園でも学区民運動会(4・5歳児参加)や運動参観日、遠足、芋ほり、表現参観日(4・5歳児クラス)、お楽しみ会等 たくさんの行事を予定しています。普段の遊びをつなげながら、子ども達が楽しんで行事に向かったり、行事を節目としていろいろな経験を積み重ね、達成感や成就感を味わい、自信を高めてほしいと願っています。

小学校の先生方が保育を見に来られました!!

幼保小連携の取組の一環として保育に学ぶために、緑丘小学校の先生方が8月24日(木)、りじょう幼稚園とももやまこども園、緑丘幼稚園の3つの園に分かれて見学に行かれました。そして、緑丘幼稚園も預かり保育で登園している子ども達の好きな遊びやふれあい遊びの様子を見られました。感想を一部紹介します。



- 年長児が年少児が持っていたブロックやソフト積み木をすぐに手伝う姿が、リーダーとしての自覚があるのだなと思いました。
- 先生が子どもの気持ちを受け止め、「持ってあげたかったんだね」「～したらいいんだよ」と気持ちの伝え方を教えていました。
- 先生が「どうしよう」と言うと、子どもが「教えてあげる」と自ら動くので、「ありがとう」と伝えていました。「どうしよう」がキーワードだなと思いました。
- 先生が安全面に気を配りながら、子どもの発想を生かすさりげない声かけがされていました。5歳児を見て、挑戦する3歳児の意欲的な姿が印象的でした。
- 絵本「せんろはつづくよ」の読み聞かせから線路づくりに子ども達が意欲を高め、子ども達が自分で作れるブロックや巧技台等を使って自ら遊びをつくり出していました。自分で考えてできる環境や子どもに考えさせる声かけが大事だと思いました。

遊びを通して、子ども達は育っています

幼稚園では、子ども達が自ら「～したい」「もっと～したい」と遊びを広げたり、自分達で遊びをつくりながら「遊び込める」子ども達を目指しています。そのために、子ども達の興味関心はどこにあるのか、どんな環境(人・もの・こと)をつくりだしたら遊び込めるのかを全職員で研修をし、意見交換しながら、工夫しています。



あれえ、水の色が変わった!

ぼくもできるよ見て!

【ペットボトルスライダーとクレープ紙を準備すると水の流れと色の変化に驚きの声!】



【年長組と年中組がサーキットを制作。すると年少のりす組も参加し、一緒に楽しむ!】



バツたつたよ。入れる?

四角でどちらが高いか勝負だ! えっ? ΔとΔで長四角ができた!

【年少組に虫取りあみとマイかごを準備すると、バツ取りに夢中。年中組のお兄さんが優しくサポート!】



【ピタゴラのブロックが年長組から年中組に引越し。遊びながら形に興味深々!】



♪君は完璧で究極のアイドル! ~♪

カブトムシの幼虫がこんなに大きくなったよ。ぱんだ組さんにもあげようよ。

【子ども達の要望に応じて場を整えると、子ども達がステージと衣装を制作し、コンサート会場に! 年中組や年少組も見学・応援にかけつけ、手拍子! 大いに盛り上がりました!】



【昨年度の年長組が育てたカブトムシを引き継ぐと、今年も成虫が卵を産み、幼虫に成長。命は引き継がれています。命は尊さを世話を通して学んでいます!】